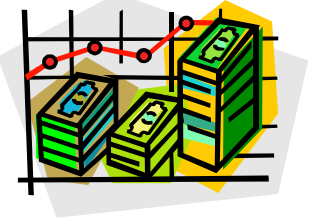


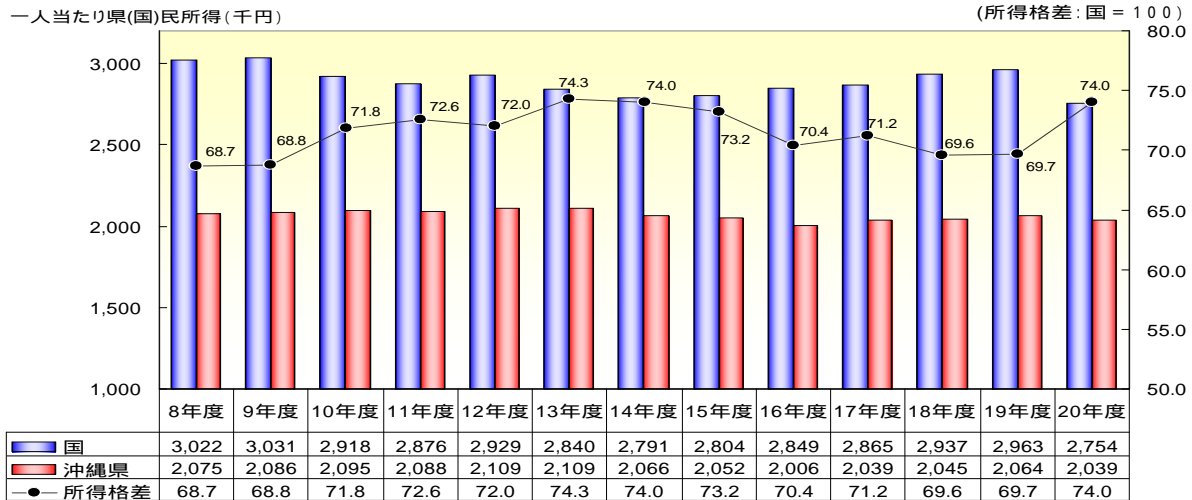
沖縄県の1人当たり県民所得は203万9千円

～ 「平成20年度 沖縄県 県民経済計算及び市町村民所得」 より ～



平成20年度の1人当たり県民所得は、203万9千円となり、前年度に比べて2万5千円(1.2%)減少しました。

図表1 一人当たり県(国)民所得と所得格差の推移



資料：沖縄県統計課

平成20年度の1人当たり県民所得は米リーマン・ブラザーズの経営破たんを端を発する世界的な金融危機の影響などで、全都道府県で減少しました。ただ、全国が前年度比7.1%減少しているのに対し、沖縄県では、減少が大きかった輸出向け製造業の比率が小さいこともあって、1.2%減に止まっています。【図表1】

平成8年度以降において、全国と沖縄県との所得格差の推移をみると、平成13年度に74.3(国=100)と最も全国の水準に近づいた後、格差は拡大傾向に転じました。

しかしながら、平成20年度は沖縄県の減少幅が全国に比較して小さかったことから、所得格差は74.0となり、再び全国との差が縮小しています。

現在、沖縄県の1人当たり県民所得は全国の中で最も低い水準となっていますが、他県に比べ人口や世帯の増加が大きく、今後も経済成長が期待されています。

1人当たり市町村民所得は、北大東村が355万5千円で最も高い

表2 地域別1人当たり市町村民所得

	1人当たり所得(千円)		
	18年度	19年度	20年度
一人当たり 県民所得	2,045	2,064	2,039
北 部	1,784	1,807	1,799
中 部	1,972	1,976	1,962
南 部	1,844	1,872	1,841
那 覇	2,468	2,489	2,456
宮 古	1,843	1,956	1,861
八 重 山	2,108	2,092	2,026

一方、沖縄県の1人当たり市町村民所得は、北大東村が人口に占める就業者の割合が高いこともあって、355万5千円で最も高く、以下南大東村336万8千円、渡名喜村297万3千円と続き、1人当たり県民所得の203万9千円を13市町村が上回っています。

次に、地域別に見ると、那覇が245万6千円で、最も高く、次いで八重山202万6千円、以下中部196万2千円、宮古186万1千円、南部(那覇を除く)184万1千円、北部179万9千円となっています。【表2】

(注) 1人当たり市町村民所得(県民所得) = 市町村民所得(分配) / 市町村内人口

市町村民所得(県民所得)の詳細については、沖縄県統計課内の下記のサイトを参照

- ・平成20年度 沖縄県県民経済計算 (http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/accounts/accounts_index.html)
- ・平成20年度 沖縄県市町村民所得 (http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/ctv/ctv_index.html)